●各文型の全体像と意味の方向性

① SV(M)

特徴:Vの後ろに何もなしor副詞的要素

意味の方向性:「存在する」「移動する」

This trip will remain in my memory. この旅は記憶の中に残るだろう。

He sprang from his chair and made toward the door.

彼は椅子からさっと立つと、ドアの方に向かった。

2 SVC

特徴:Vの後ろに名詞 or 形容詞があって『S = C』の関係

☆ "SV 形容詞" の形になっていれば 100% SVC になる

He remained silent. 彼はずっと静かにしていた。

Let's make merry; it's Christmas! 楽しくやろうぜ! クリスマスだよ。

資料 SVC を作る主な動詞

(1) 「状態」を表す動詞

be/remain/keep/stay など

(2) 「状態変化」を表す動詞

become/get/grow/go/come/make/fall など

(3) 「感覚・五感」を表す動詞

look「~に見える」/smell「~な匂いがする」/sound「~に聞こえる」/taste「~な味がする」/feel「~のように感じる」/seem・appear「~のように思われる(印象)」

(4) その他の SVC

prove {to be} C「(結局)~になる」「~だと分かる」

turn out {to be} C「(結局)~になる」「~だと分かる」

You look happy, 嬉しそうだね。

The rumor proved false. そのうわさは実はうそであることが分かった。

The day turned out a fine day. その日は結局お天気になった。

3 SVO

特徴: V の後ろに

名詞があって 『S ≠ O』の関係

They made movie of this novel. 彼らはこの小説の映画化をした。

4 SVO102

特徴: V の後ろに

名詞が 2 つ連続で並んで『O1 ≠ O2』の関係

☆ "SV 人 物" になっていることが多い

意味の方向性:人に物を「与える」/人から物を「奪う」(資料2参照)

Mother will make me a new dress. 母は新しいドレスを作ってくれるだろう。

A little exercise will do you good. 少し運動すると体によいでしょう

Will you do me a favor? お願いがあるのですが。

資料 doの物になるもの(利害に関する名詞が多い)

good「役立つこと・利益」/harm「損害・害」/damage「損害」/justice「公正・公平」/a favor「親切な行い」

資料2 「奪う」と訳す SVOO を取る動詞(否定 give 型)

take/cost/save/owe/deny

Washing the car took me an hour. 車を洗うのに1時間かかった。
This bag cost me £30. このかばんは30ポンドした。
His carelessness cost him his life. 彼は不注意のため命を失った。
She saved me a lot of trouble. 彼女のおかげでうんと手間が省けた。

⑤ SVOC

特徴: V の後ろに 2 つの要素が来て『O = C』の関係

☆ "SV O 形容詞" の形になっていれば 100%SVOC になる

意味の方向性:Sが「O=C」の状態にする/Sが「O=C」だと分かる

This movie made Johnny Depp a star. この映画でジョニーデップはスターになった。

I found the movie interesting. その映画を見たが面白かった。

資料 SVOC をつくる主な V ※これらの動詞を見たらまずが SVOC を予測する

(1) 使役系 (OをCにする・させる)

make/keep/leave/get など

(2) 認識・判断系 (OがCだとわかる・思う)

find/consider/think/believe/suppose など ☆V O to be C の形もアリ

(3) 命名系(OをCと呼ぶなど)

call「呼ぶ」/name「名づける」/elect「選ぶ(投票によって役職などに選ぶ)」など

His full name is Wardell Stephen Curry II, but fans often call him Steph. フルネームはワーデル・ステフィン・カリー2世だが、ファンは彼をよくステフと呼ぶ。

第8講 不定詞(1)

●準動詞とは? → 動詞から派生した「変化形」が「別の品詞」の働きをするもの

品詞 準 V の形	名詞的用法	形容詞的用法	副詞的用法
to+原形	0	0	0
-ing	動名詞	現在分詞	分詞構文
p.p. (-ed/-en)	原則×	過去分詞	分詞構文

●不定詞の名詞的用法 → カタマリで S・O・C になる

To finish today is important. 今日終わらせることが重要だ。

I don't like to ask questions. 質問するのは好きじゃない。

To live is to think. 生きることとは、考えることである。

☆to ~ が C の場合、be 動詞の C が多い

補足 仮Sのitや仮Oのit

(1) 仮Sのパターン

To have a balanced, healthy diet is important.

→ It is important to have a balanced, healthy diet.

バランスの取れている、健康的な食事を取ることは重要だ。

☆基本的に長い to ~を S にすることは避けられているので、仮 S を使うのが普通

(2) 仮 O のパターン

I find to operate this machine difficult. (\times)

→ I find it difficult to operate this machine.

この機械を操作するのはむ難しいとわかった。

 \Leftrightarrow SVOC の O に to \sim が来る場合は仮 O を置くのが決まり(to \sim の名詞的用法を SVOC の O の位置に置くことは出来ない)

●不定詞の形容詞的用法 → 名詞を後置修飾/名詞と to ~に「一定の関係」がある

【形】



① 主格関係

Neil Armstrong was the first man to land on the moon.

ニール・アームストロングは月面に降り立った最初の人類だった。

② 目的格関係

(1) 他動詞の 0

There are many difficulties to overcome.

乗り越えなくてはいけない障害がたくさんある。

※difficulty「困難・障害」 overcome「~を克服する」

(2) 前置詞の O

There's no one to give the present to.

このプレゼントをあげる人が誰もいない。

資料 何か書くもの×3

Do you have a memo pad or something to write on?

メモ帳か何か書くものを持っていますか?

Do you have something to write with?

何か書くもの(道具)を持っていますか?

I'm always looking for something to write about.

いつも書くネタを探している。

第14講 関係詞(1)

●関係詞は2つの視点で解決

- ① 全体を見る視点 → 何節を作るのか? (形容詞節 or 名詞節 or 副詞節)
- ② 中身を見る視点 → 関係詞の後ろは完全文か不完全文か?
- ☆不完全文 → 名詞 (主に S か O / 稀に C) が 1 つ欠けている文

●関係詞の基本(つなげ方)

(a) That is the house.+(b) The singer lives in it.

FFF関係詞のまとめ FFFFFF

	何節を作る?	後ろの形			
関係代名詞		不完全文			
前置詞 + 関係代名詞	形容詞節	完全文			
関係副詞		完全文			

●関係代名詞の詳述

① 主格を使ってつなげる【S欠】

The girl who is singing on the stage is my sister.

ステージで歌っている女の子は私の妹です。

補足 関係詞節の切れ目

- ① 関係代名詞から数えて、2つ目の動詞を発見 → その直前で切れる
- ② 関係代名詞から数えて、2つ目の動詞がない → 最後までが関係詞節の切れ目
- ☆1つの節の中には動詞は原則として1つだけだから

② 目的格を使ってつなげる【O欠】/☆関係代名詞の目的格は省略可能

(1) 他動詞の O

The girl whom you met yesterday is my cousin.

君が昨日会った女の子は僕のいとこだ。

【検証】

He is the boy who helped me.

彼が僕を助けてくれた少年です。

He is the boy who(m) I helped.

彼が僕が助けてあげた少年です。

(2) 前置詞の O

He is respected by the people whom he works with.

☆くだけた形式

He is respected by the people with whom he works.

☆最も格式的な表現

He is respected by the people he works with.

☆最も一般的

彼は一緒に仕事をしている人から尊敬されている。

資料 "名詞 SV"の構造があれば、「関係代名詞の省略」を考える

Martin Luther King Jr. changed the world we live in with his words and his actions. キング牧師は自分の言葉と行動で我々が暮らす世界を変えた。

■ラテンル跡線	級 ☆前置詞が	"than"	ではたく	"to"	を使うもの
ノノノンロギジュ	ᇄᄽᅟᄶᇚᆔᆖᆔᄭᄼ	ulali	C	ιυ	マほ ノロの

- ① be superior to ~「~より優れている」
- ② be inferior to ~「~より劣っている」
- ③ be senior to ~「~より年上」
- ④ be junior to ~「~より年下」
- ⑤ prefer A to B「B より A の方が好き」
- ⑥ be preferable to ~「~より好ましい」
- ⑦ prior to ~「~より前」

付録2 比較の慣用表現

- (1) 比較級を使った慣用表現
- ① 比較級 and 比較級「だんだん」

It's getting warmer and warmer.

だんだん暖かくなってきた。

② know better than to ~「~するほど馬鹿ではない」「~しないだけの分別がある」

You should have known better than to cheat on the examination. 試験でカンニングのような馬鹿なことしなきゃよかったのに。

③ 否定的な文+much less[still less/let alone]「ましてやなおさら~(ない)」

He can't even read English, much less write it. 彼は英語を読むことも出来ない。ましてや書くことなんてできるわけない。 The baby can't even sit up yet, let alone walk.

その赤ちゃんはまだ座ることもできない、ましてや歩くなんてとても。

(2) 最上級を使った慣用表現

□at {the} most「多くても」
□at least「少なくとも」
□at {the} best「よくて・せいぜい」
□at {the} worst「最悪の場合でも」
□at one's best「最高の状態で」
□make the best of ~「(不利な条件など) ~を最大限利用する」
例: make the best of a bad business「困った状態をせいぜいよくする」
□make the most of ~「(有利な条件を) ~を最大限利用する」
例: make the most of a opportunity「機会を最大限利用する」
□not ~ in the least「全く~ない」
□the ナシの most「とても~(= very)」

問題演習

1 次の各英文の()に入る最も適当な語(句)を1つ選びなさい。また問に指示がある場合は、その指示に従いなさい。					
 Ever since Steven changed jobs, he has not been as () as he used to be. happy 2. happier 3. happiest 4. too happy 					
2) 次の各組の英文がほぼ同じ意味になるように、空所に適切な一語を入れよ。 She is not as happy as she used to be. She is () happy than she used to be.					
3) Patricia was () as anyone could have had.					
1. as patient teacher 2. as a patient teacher					
3. as patient a teacher 4. as patient as teacher					
4) She has 40 CDs while I have 20. = She has () () CDs as I have.					
5) 次の英文がほぼ同じ意味になるように、空所に適切な一語を入れなさい。					
a. This house is three times as large as that one.					
b. This house is three times the () of that one.					
6) 次の英文がほぼ同じ意味になるように、空所に適切な一語を入れなさい。					
a. John told his wife that he would return as soon as he could.					
b. John told his wife that he would return as soon as ().					
7) My father is () than my mother.					
1. older three 2. three years older					
3. by three years old 4. older to three years					
8) Mary is taller than Judy () two inches.					
1. by 2. for 3. in 4. with					